しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL：https:// www.skam.co.jp

マーケット動向： 2020年11月9日から11月13日までの動向

« 主 要 国 »

		過去3か月の推移	11月9日～11月13日 高値	11月9日～11月13日 安値	11月13日	前週比 騰落幅	前週比 騰落率	先週の動き
株価	日経平均株価		25,587.96	24,541.28	25,385.87	+ 1,060.64	+ 4.4%	世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒は重しも、米製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナのワクチンが高い有効性を示したことを受け、経済の正常化が進むとの見方から、投資家のリスク選好が強まり、内外の株価は堅調な動きに。
	JPX日経400		15,703.32	15,057.46	15,404.86	+ 449.58	+ 3.0%	
	ＮＹダウ		29,933.83	28,902.13	29,479.81	+ 1,156.41	+ 4.1%	
	ﾄﾞｲﾂ DAX指数		13,297.05	12,670.58	13,076.72	+ 596.70	+ 4.8%	
						（変化幅、%）		
国債利回り	日本（10年）		0.040	0.015	0.020	+ 0.005		内外の債券市場は、米大統領選でバイデン氏が当選を確実にしたことで米政治の先行き不透明感が後退したことに加え、新型コロナのワクチン開発の進展を受けて、経済正常化への期待が強まり、安全資産とされる国債を売る動きが優勢（価格下落、利回り上昇）。
	米国（10年）		0.975	0.797	0.896	+ 0.078		
	ドイツ（10年）		-0.461	-0.644	-0.547	+ 0.074		
	豪州（10年）		1.001	0.769	0.881	+ 0.128		
						（騰落幅、円）		
為替（対円）	ドル		105.68	103.19	104.63	+ 1.28		米大統領選の結果をめぐる不透明感が後退し、投資家心理が上向いたことや、新型コロナのワクチン開発への期待が高まり、逃避通貨とされる円は売りが優勢。米長期金利の上昇も、ドル買い、円売り材料。ただ、新型コロナの感染再拡大はドル円の上昇を抑制。
	ユーロ		125.13	122.69	123.85	+ 1.14		
	豪ドル		77.10	75.09	76.07	+ 1.05		
	カナダドル		81.43	79.09	79.68	+ 0.60		
						（騰落幅）	（騰落率）	
その他	東証REIT指数		1,742.42	1,682.42	1,696.20	+ 4.60	+ 0.3%	Ｊリートは、米政治の先行き不透明感の後退や、新型コロナのワクチンへの期待から上昇も、東京都心のオフィス空室率の上昇や、新型コロナの感染拡大を受け、上げ幅を縮小。先週末の分配利回りは4.238%（東証上場REITの予想分配利回り、QUICK算出）。
	海外リート指数		208.22	202.26	207.40	+ 17.80	+ 9.4%	
	NY原油		43.06	37.16	40.13	+ 2.99	+ 8.1%	
	NY金		1,966.10	1,848.00	1,886.20	- 65.50	- 3.4%	

« ア ジ ア »

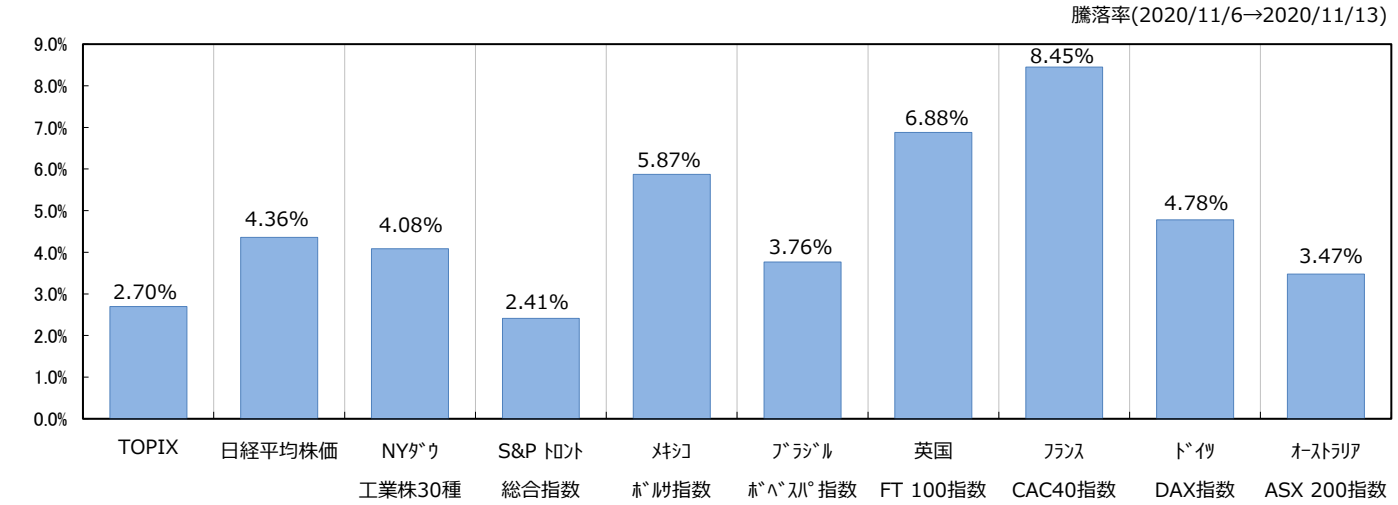
株価		過去3か月の推移	前週比	先週の動き	為替（対円）	前週比
中国	上海総合指数		- 0.1%	ハイテク企業の規制強化が警戒され、小幅下落。	人民元	+ 1.3%
香港	ﾊﾝｾﾝ指数		+ 1.7%	米大統領選でのバイデン氏勝利などを受け、上昇。	香港 ﾄﾞﾙ	+ 1.2%
台湾	加権指数		+ 2.3%	米大統領選後、米中関係の改善期待が強まり上昇。	台湾ﾄﾞﾙ	+ 1.3%
韓国	総合株価指数		+ 3.2%	堅調な半導体輸出などが好感され、上昇。	韓国ｳｫﾝ	+ 2.7%
インド	SENSEX指数		+ 3.7%	好調な企業決算などを背景に、上昇。	ｲﾝﾄﾞ ﾙﾋﾟｰ	+ 1.2%
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ST指数		+ 5.1%	世界貿易の拡大期待が広がり、大幅上昇。	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ ﾄﾞﾙ	+ 1.3%
ﾏﾚｰｼｱ	KLCIｲﾝﾃﾞｯｸｽ		+ 4.6%	主要産品であるパーム油の値上がりなどで、上昇。	ﾏﾚｰｼｱﾘﾝｷﾞｯﾄ	+ 1.8%
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	ｼﾞｬｶﾙﾀ 総合指数		+ 2.4%	新型コロナのワクチンへの期待などから、上昇。	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ﾙﾋﾟｱ	+ 1.6%
タイ	SET指数		+ 6.9%	貿易や観光業の改善期待などを受け、大幅上昇。	ﾀｲ ﾊﾞｰﾂ	+ 2.7%
フィリピン	総合指数		+ 4.3%	来年の景気回復期待などを背景に、上昇。	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ ﾍﾟｿ	+ 1.3%
ベトナム	VN指数		+ 3.0%	米政治をめぐる不透明感が和らぎ、上昇。	ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾄﾞﾝ	+ 1.7%

（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用。海外リートはS&P先進国 REIT指数（日本を除く、円ベース）。高値、安値については、海外リートは終値、その他はザラ場ベース
NY原油はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）のＷＴＩ先物。NY金はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）ＣＯＭＥＸ部門の金先物
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ. 株 価

1. 各国の株価指数（騰落率）

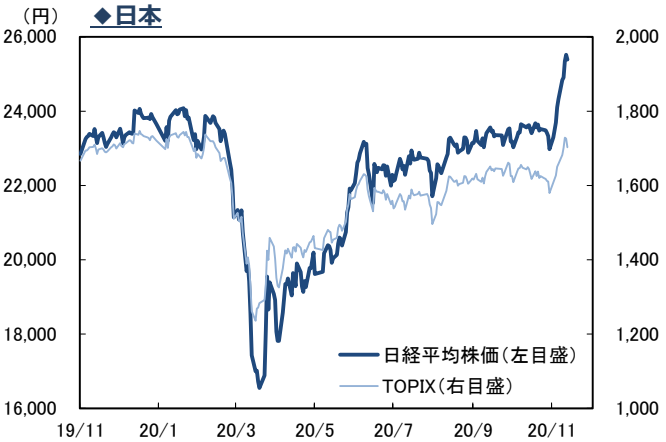


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. 各国の株価推移

◆日本

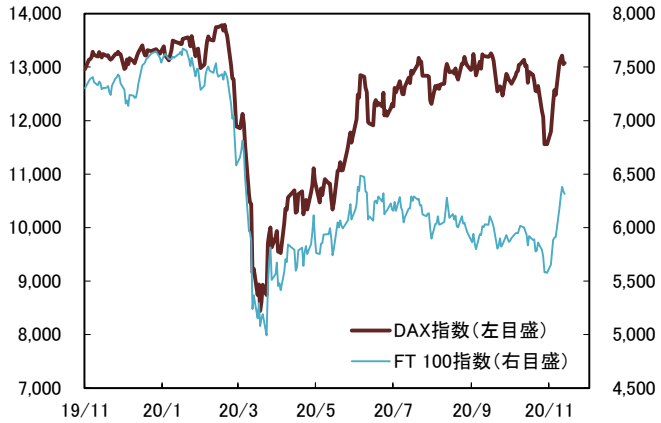


（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

◆北米

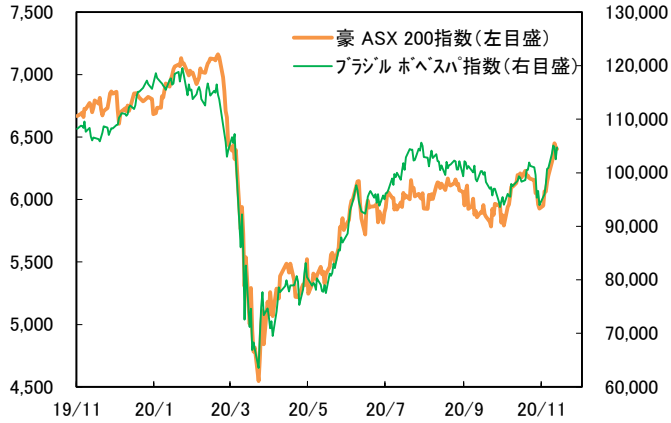
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

◆欧州



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

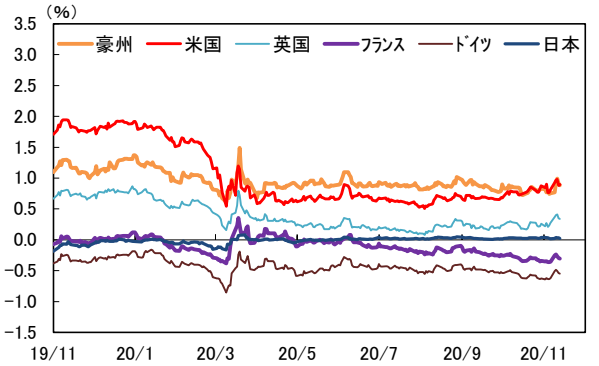
◆ｵｾｱﾆｱ・南米（豪州・ﾌﾞﾗｼﾞﾙ）



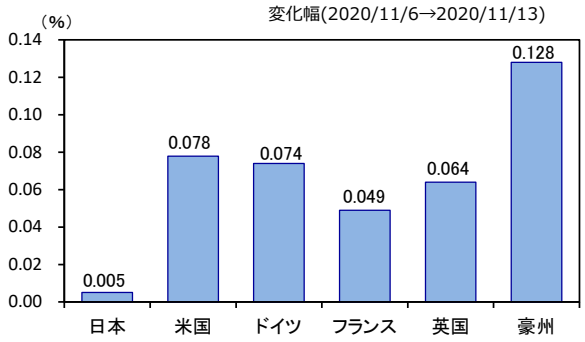
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

Ⅱ. 債券・為替

1. 主要国の10年債利回り



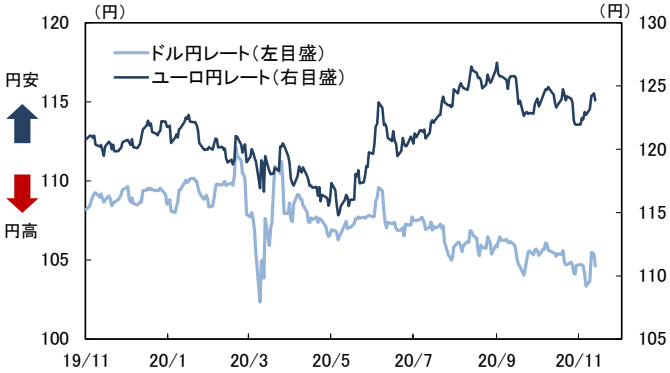
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用

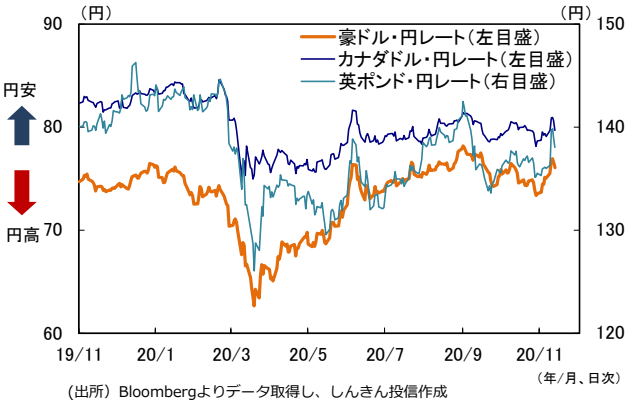
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. ドル円、ユーロ円



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

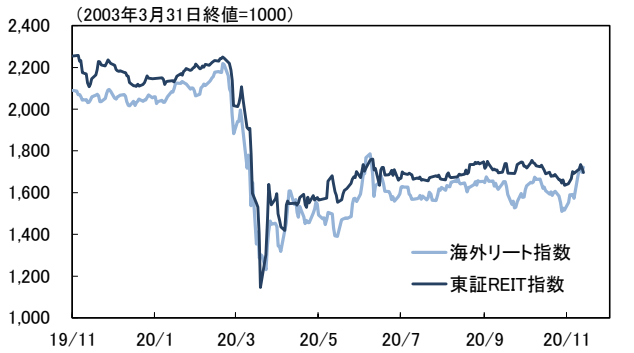
3. 豪ドル・円、英ポンド・円、カナダドル・円



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

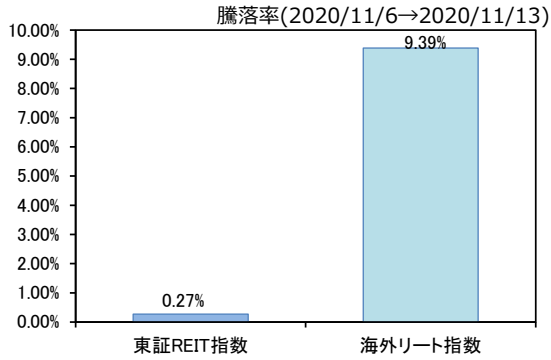
Ⅲ. リート・商品

1. 日本と海外のリート市場



（注)海外のリート指数はS&P先進国 REIT指数（日本を除く、円ベース）

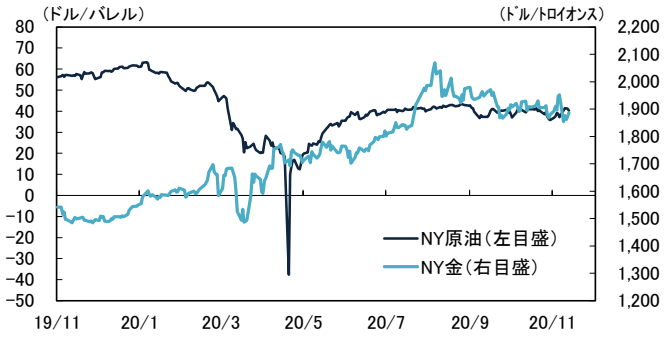
（出所）東京証券取引所、Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



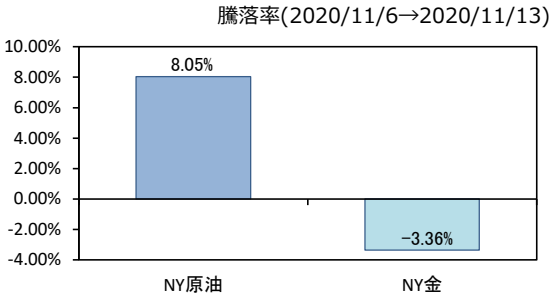
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用

（出所）東京証券取引所、Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. 原油、金



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用

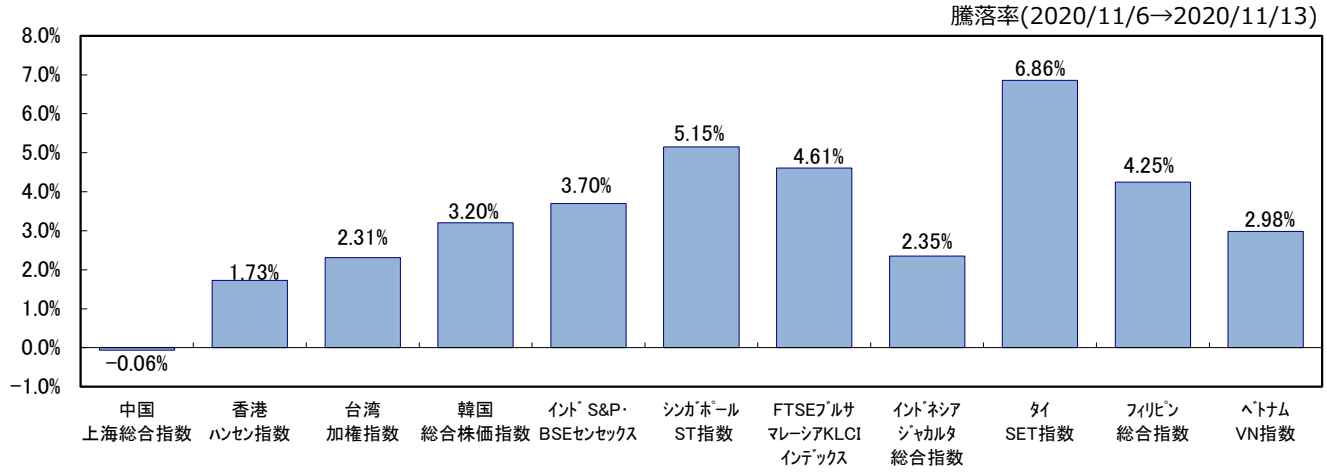
NY原油はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）のＷＴＩ先物。NY金はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）ＣＯＭＥＸ部門の金先物

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

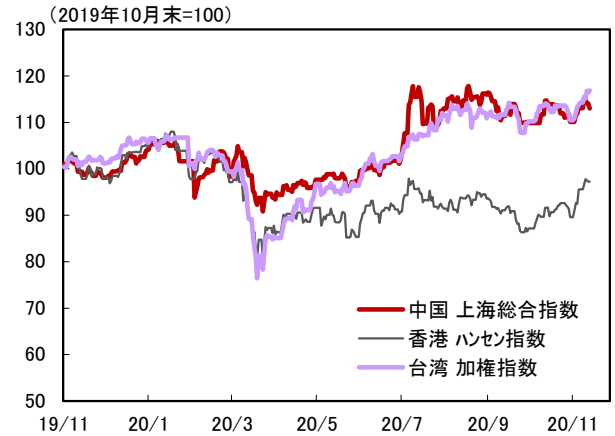
Ⅳ. アジア株

1. アジアの株価指数（騰落率）

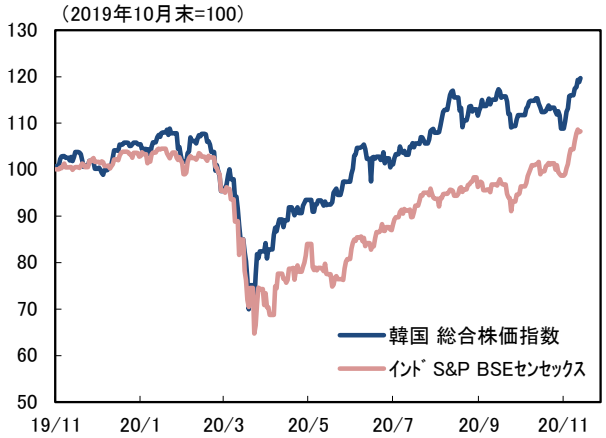


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

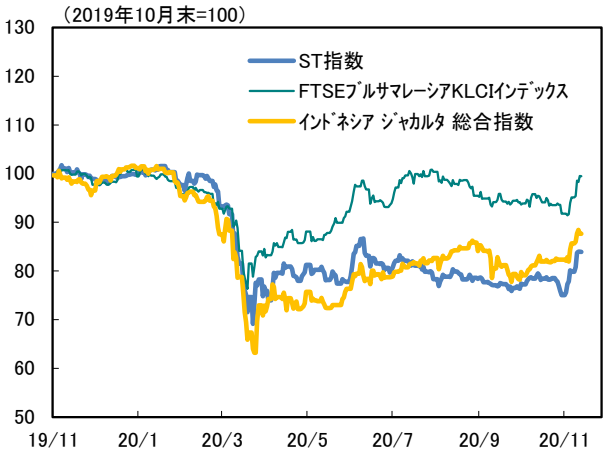
2. アジア株の推移



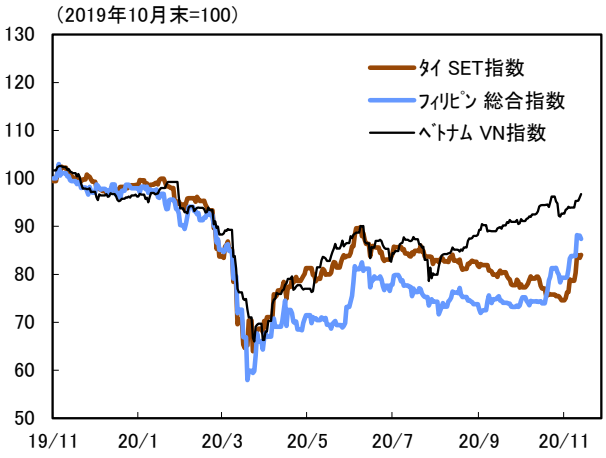
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



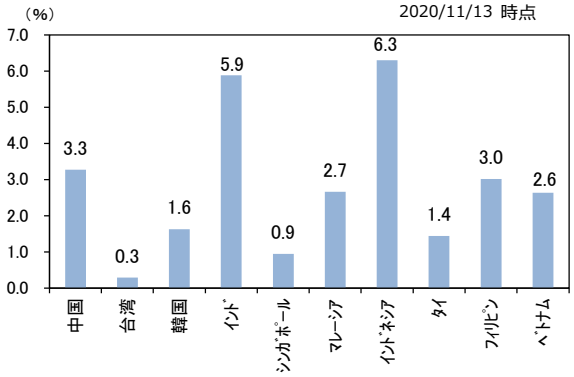
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



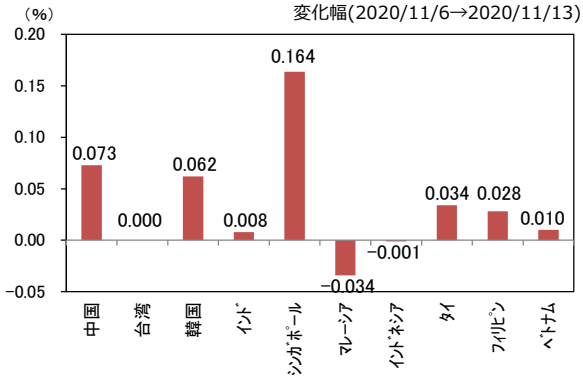
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

Ⅴ. アジア長期金利と政策金利

1. アジアの10年債利回り

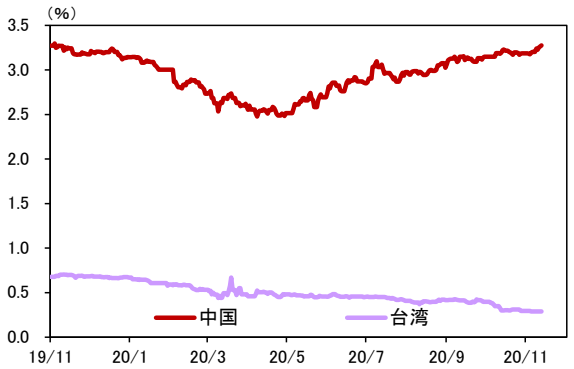


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

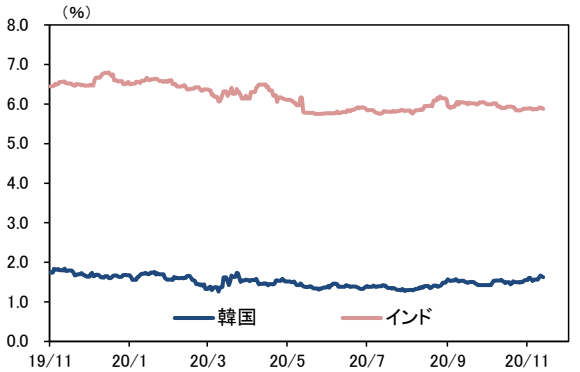


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

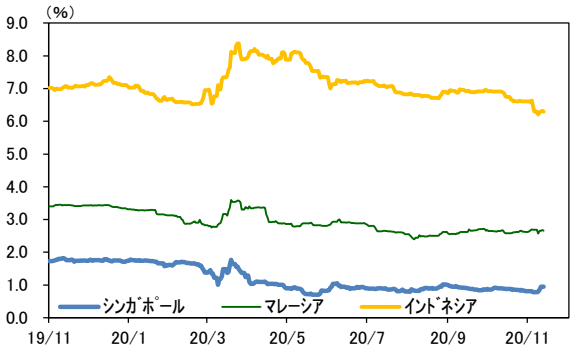
2. アジアの10年債利回りの推移



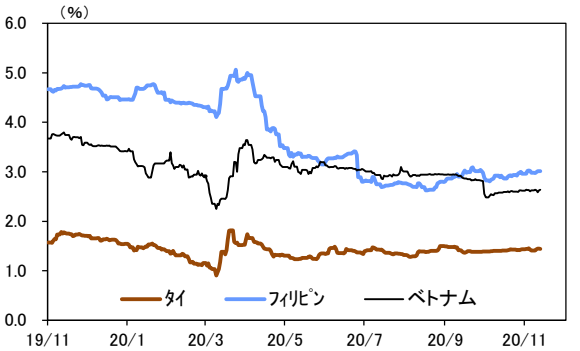
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

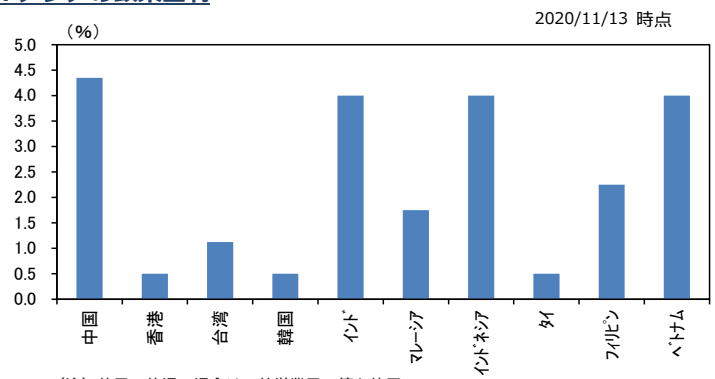


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

3. アジアの政策金利



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（単位：%）

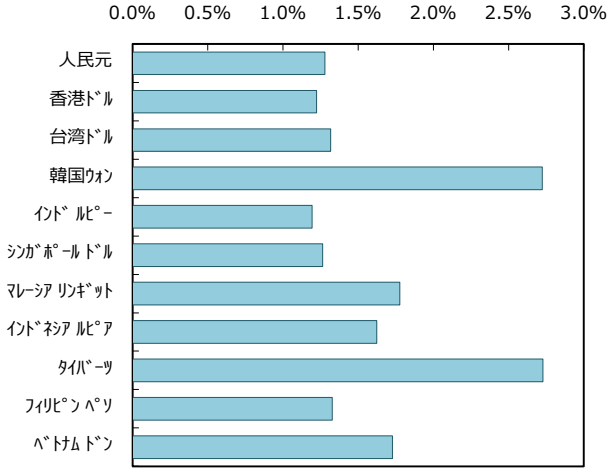
	政策金利	(前回)
中国	4.35	(4.60)
香港	0.50	(0.51)
台湾	1.125	(1.375)
韓国	0.50	(0.75)
ｲﾝﾄﾞ	4.00	(4.40)
ﾏﾚｰｼｱ	1.75	(2.00)
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	4.00	(4.25)
ﾀｲ	0.50	(0.75)
ﾌｨﾘﾋﾟﾝ	2.25	(2.75)
ﾍﾞﾄﾅﾑ	4.00	(4.50)

（注）中国は1年物基準貸出金利、ベトナムはリファイナンス金利。シンガポールは外国為替相場を金融政策の手段としており、政策金利はない。

Ⅵ. アジア為替（対円、Bloombergベース）

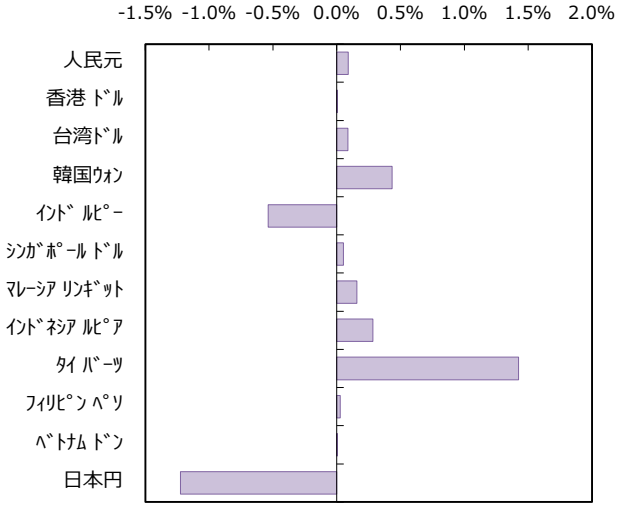
1. 前週比

対円での変化率 (2020/11/6→2020/11/13)



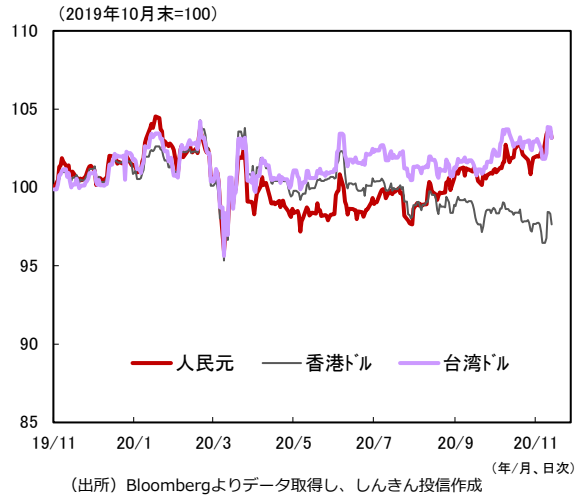
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

対ドルでの変化率 (2020/11/6→2020/11/13)



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

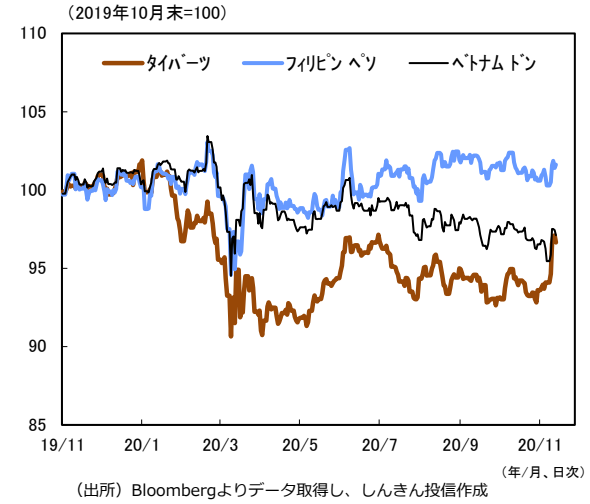
2. アジアの為替の推移（対円）



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（ 2020.11.16 作成）

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞
※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものですので、予告なく変更する場合があります。
※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】
■投資信託に係るリスクについて
投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について
（お客様に直接ご負担いただく費用）
◆ご購入時の費用・・・購入時手数料　上限3.3%(税抜3.0%)
◆ご換金時の費用・・・信託財産留保額　上限0.3%
（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）
◆運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、上限年率1.628%(税抜年率1.48%)
◆その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》
上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。